

わる気と感動

学校だより 12号
平成29年
7月20日(木)

＝ 本日 一学期終了 35日間の夏休みへ ＝

一学期は運動面、あいさつ、全力校歌・応援、話し合い活動など、今まで学校だよりでお伝えしたように、集団として力をつけ、大きな成果を得られました。この集団の力を二学期の輝城祭へと繋げていきましょう。

昨日5日間の三者面談期間が終了しました。生徒と保護者、担任の三者が膝をつき合わせて話ができる貴重な機会でした。これから取り組むべき事や課題が確認できたと思います。はっきりとした目標を持って、自ら行動することで少しずつ変わっていき、成長していきけるものです。ご家庭でもう一度目標を確認してみてください。

これからの目標が確認できたところで、明日からの夏休みの具体的な目標や、何に挑戦するか、何を楽しむかなどもきちんと考え、普段できない体験もいっぱいしてもらいたいものです。

県の上位を狙う戦い、関東全国を懸けた戦い、より高いレベルを目指した新しいチーム作りなど**部活動の夏**。苦手教科の克服、**基礎学力の向上の夏**（夏季学習会、家庭学習）。受験生としての覚悟を決め**進路を切り拓く夏**（高校見学、妥協を許さない自学自習）。**冒険の夏**（八丈島フロンティアアドベンチャーなど）。**家族との絆を深める夏**。**地域貢献・ボランティアの夏**。**読書の夏**。さてあなたの夏は・・・。

35日間の夏休み、心も体も頭も鍛える夏・温かな交流のある夏・豊かな潤いのある夏であって欲しいと願っています。8月25日(金)二学期始業式で成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

7月11日 民生児童委員・主任児相委員さん37名来校

民生委員・主任児童委員さんが学校訪問にいらっしゃいました。昨年度より大勢の皆さんが来てくださいました。全体で学校の様子を説明し、各学級の授業参観や校舍見学をしていただきました。全体会の中で自己紹介を兼ねたあいさつが行われ、その中で出されましたご意見を紹介します。

- ・あいさつだけでなく、言葉かけにしっかりと答えてくれるので、夕方中学生に声をかけるのが楽しみです。
- ・小学校では自分からはなかなかあいさつができなかった子が、中学生になって自分からあいさつをするようになった。
- ・非常に元気のいいあいさつをしてくれる。・スクールバスのバス停前で、生徒から声をかけてくれる。
- ・中学生が地域の運動会などで、おとなと仲良く活動できている。
- ・学校だよりで学校の様子がよくわかる。楽しみにしている。中学生の活躍が伝わってくる（数名）など

昨年度も同じような評価をいただきましたが、南部警察署の署長さんも、青少年育成南部町民会議や、学校・警察・補導連絡協議会などの会議の中でも、『南部中学校の生徒のあいさつは、元気で気持ちが良い。』と評価していただいています。南部中文化の一つと言える『あいさつ』が、より本物に近づいてきていると感じられました。

また、いじめの現状や取り組み、不登校の現状はどうか、等のご質問もいただきました。

地域の皆さんが南部中の生徒（南部の子ども達）をあたたく見守ってくださっていることが伝わってきます。また、中学生の気持ちのいいあいさつや、様々な方面で活躍している姿が、地域の皆さんに少しでも元気を届けることになる事も感じられました。『見守られる存在』から『地域を元気にする存在』になっていきたいですね。

* 中学生の皆さん、夏休み中は地域に小中学生の声を響かせ、地域全体を元気にしていきましょう。ラジオ体操や地域の行事や活動も大切にしてください。

＝保護者の皆さん・地域の皆さんへ＝

夏季休業中は生徒が家庭や地域で過ごすことが多くなります。家族の一員であること、地域の一員であることを強く自覚できる時期でもありますので、ご指導をよろしくお願い致します。

南部中ホームページも是非ご覧ください。

<http://www.nanbu-chu.ed.jp>